

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・買上点数が増えており、客単価が前年より良い傾向が続く。
	変わらない	百貨店（営業担当）	・消費の冷え込みが更に悪化するわけではないが、改善に向かう要素も乏しく予断を許さない。
		スーパー（経営者）	・今年は旧盆時期が前年に比べて1週間以上も早かったため、単純比較はできないが、8月に入っても旧盆商戦が前年並みで推移していることから、このような状況がしばらく続く。
		コンビニ（エリア担当）	・カウンターフードなどのホット商材といった、コンビニにとっての主力商品の値上がりもあり、ますます買い控えが予測される。たばこ以外の商品の売上減でたばこ（低利益）で得た利益を食いつぶし、その結果、収益悪化になりかねない。
		衣料品専門店（経営者）	・前年と比較してあまり変わらないが、全体的にこの業界も状況の良い店と悪い店の差が確実に出てくる。
		家電量販店（従業員）	・これ以上不況になって欲しくないという期待もあるが、上向きの材料がなにもなく、あまり変わらない。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・既に厳しい状況が続いている。これ以上悪くなったら、採算割れ部門の縮小なども検討していく。
		観光型ホテル（商品企画担当）	・10月以降は、前年並みの受注で推移するとみられる。
	観光型ホテル（営業担当）	・予約状況が前年同月比で3%ほど良い。	
観光名所（職員）	・沖縄観光はこれから、9月は学生や一般団体を中心にした旅行、また10月からは修学旅行シーズンに入る。全国的な諸物価の高騰により、国民の旅行環境は厳しい状況にあるが国民の沖縄への好感度等を考えると、前年度並みの観光客数は維持できる。		
やや悪くなる	コンビニ（エリア担当）	・諸物価の値上がりにより、買い控えが今以上に進む。	
	通信会社（店長）	・年末の新商品の発売を控え、買い控えが出てくる。	
	悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街では、新規開店はほとんど観光土産関連店であり、お互い客割れの状態になっている。観光客の購入単価が落ちており、なかなか売上には結びつかず、厳しい状況下に置かれている状況が続く。
悪くなる	その他専門店〔書籍〕（店長）	・週刊誌、月刊誌共に輸送コストの増大、原料価格の上昇に伴い販売価格の上昇が見受けられる。今後も価格の上昇が考えられるため売上部数の減少、または発行部数の減少が予測される。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・相変わらず平日の地元客の来店が悪く、DM、企画宣伝を行っているが、観光客が落ち着く9、10月は見通しが立っていない。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	通信業（営業担当）	・年度初めから仕事の案件依頼はあるものの、発注が先延ばしになるなど、案件の意思決定が遅かった。8月に入ってから意思決定が大分回復してきておりこの状況が続く。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・引き続き改正建築基準法の影響で厳しいものの、大型工事物件の引き合いが見込め、販売量が若干回復する見通しである。しかし、依然として原材料の高騰が続いており厳しい収益となる。
		輸送業（営業担当）	・建築業は息を吹き返す兆しがあると聞いているが、原油価格のみならず資材の高騰もあるため、観光以外の動きはさほど無い。
	やや悪くなる	輸送業（代表者）	・8月後半から9月末にかけての公共工事の集中発注があり、2、3か月は堅調に推移する。
		建設業（経営者）	・モデルハウスへの来場者数及び引き合い件数が減少している。
悪くなる	広告代理店（営業担当）	・景気好転の要因が見当たらない状況にある。建設業界を始め、食品及び流通業界においても厳しい状況が続いているなかでは、積極的に売上拡大を目指した販売促進活動（広告宣伝含む）は展開されにくい。	
	雇用	良くなる	-

関連	やや良くなる		
	変わらない	-	-
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原油等原材料の高騰で持ちこたえられない企業の倒産に備えての引当金の増額、銀行の貸し渋り、クレジット会社の大型債務超過、県内3銀行の200億円近くの債権等の状況から、業種を問わず体力の無い企業の倒産が懸念される。どうか全体の売上を支えている食料品の更なる値上げから、個人消費が鈍化する懸念もあり、厳しい状況が続く。</li> <li>・前年に比べると、県内求人が減少している。</li> </ul>
		学校〔大学〕（就職担当）	
	悪くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原油等の物価高に伴う不況感で、消費者の購買意欲がますます減退していくなか、経営面での求人ニーズが一層減っていく。</li> </ul>